

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	転倒転落の恐れがあるとして、安全ベルトサイドレールの使用が続いている。解除を目標に話し合い決めた骨折や負傷に対する恐怖心から、実行定着に至らない。身心状態や職員の見守り状況を見つ、安全を固く拘束しないケアを目指す。	安全ベルト、サイドレールを段階を経て解除する。 ・安全ベルトは、昼食時外す。 ・サイドレールは、マットスを床に敷き、就寝介助時と除き外す。	チェック表に項目として掲げ、毎日チェックを入れることで意識しケアに当り、後日できなければ時の理由を話し合い、皆で解決策を考える。 就寝時は、鈴の音で体動を感知し見回りも頻回に行い、事故回避に努める。	3ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。